

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	有害鳥獣駆除事業	会計	一般会計	事業No.	425	施策順No.	11-031
		事業種別	政策・その他	予算科目	6-2-2-15-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	林務課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	S55	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	人工林						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		カモシカによる造林被害団地数(団地)		5	6	6	5	
	意図	人工林において、カモシカによる食害被害を防止する。そのために個体数調整(捕獲)を行う						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	カモシカ個体調整頭数(頭)	4	6	5	6	6	5	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	十分な成果があり目標を達成できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	人工林において、ヒノキの幼齢木などへのカモシカによる食害被害拡大を防止するため、長野県が定めた特定鳥獣保護管理計画(カモシカ)の捕獲計画に基づき個体数調整を行う事業、平成22年度には新たに上村、南信濃の3箇所において農業被害の発生を防止するため実施する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	カモシカ個体数調整業務委託(飯田市連合猟友会)	個体調整頭数 陣ヶ沢 I、陣ヶ沢 III、大牧、程野、池口、本村 6団地	6頭
23年度実施計画	カモシカ個体数調整業務委託(飯田市連合猟友会)	個体調整頭数 陣ヶ沢 I、陣ヶ沢 III、、程野、池口、本村 5団地	5頭

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項
		県支出金				
		起債				
		その他	180	163	166	
	一般財源		338	260	301	
	計(A)	518	423	467		
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)		0			
	トータルコスト A+B		423			

(そ)鳥獣飼養許可手数料

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	林業生産額(億円)
				経済的自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	カモシカ21頭の個体数調整を実施したことにより、林業及び農業被害を抑えることができた。		
	後期に向けた課題	森林造成事業が皆伐でなく、間伐施策を行なうことにより、新たに植林する面積が少なく食害による林業被害は減少傾向にある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	カモシカは特別天然記念物であり、被害林地の調査を実施し文化庁への現状変更申請を行なった。		
	後期に向けた課題	遠山地区での茶畑などの食害による被害発生しており、重点的に個体数調整を実施する必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	忌避剤の塗布により被害を抑えている。		
	後期に向けた課題	忌避剤の塗布により被害を抑えている。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	林業振興のために適切である。		
	後期に向けた課題	林業振興のために適切である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	飯田市連合猟友会とカモシカ個体数調整業務委託を結び事業実施している。		
	後期に向けた課題	飯田市連合猟友会とカモシカ個体数調整業務委託を結び事業実施している。		
全体を通じて	4年間の振り返り	個体数調整を実施したことにより、林業及び農業被害を抑えることができた。		
	後期に向けた課題	遠山地区での茶畑などの食害による被害の防止。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------